

島根県の経済を 知ろう！

～社会調査法～

島根県立大学総合政策学部

藤原先生ご担当

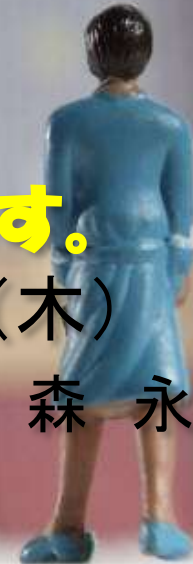


政府統計

島根県の経済統計を紹介します。

平成28年7月14日(木)

島根県政策企画局統計調査課 森 永壽



目次

1. 概略
2. 統計調査の仕組み
 1. 一次統計
 2. 二次統計
 3. 加工と分析
3. 統計の活用を

1. 概略

- 経済を知るためには、調査が必要
 - 詳しく知りたい
 - ... 詳細な調査が必要だけど、お金も手間も
 - 簡単に済ませたい
 - ... 詳しいことはわからない
- これらの課題をどのようにすればいい？
 - 調査→とりまとめ→比較→分析 のサイクルで

統計を作るときの注意

1. 「調査のめあて」をはっきりさせる
何のために、どういうことを知りたいか
ということを初めにはっきりさせる。
2. 「調査の相手」をはっきりさせる。
何を調べるのかをはっきりさせること
はもっと大切なこと。このとき、調査す
る時間や場所もはっきりさせなければ
なりません。
3. 「調査の方法」をはっきりさせる。
 - ① 調査票を家に持って帰って、家の人
に書いてもらうか、自分で記入するか。
 - ② 自分たちで観察・実験・調査し、記録
するか。
 - ③ 直接相手に会って聞き取り、調査票
に記入するか、相手に記入してもらっ
て、後で集めるか。
 - ④ すでにできている記録を集めるか。

4. 「どういうことを調査するか」をはっ
きりさせる。
調査の目当てや調査の方法などと考
え合わせながら決めます。
5. **統計材料を集め、それを分類整理
して集計し、統計表やグラフに表
す。**
このとき注意しなければならないこと
 - ① 調査のめあてに合った分類を考え、
集計表を作る。
 - ② どのような手順で集計したら早く正し
くまとめることができるかを、あらかじ
め考えておく。
 - ③ 調査の結果を正しくわかってもらうた
めにはどのような統計表やグラフを
作ったらよいか考える。

2 統計調査の仕組み

(1) 統計調査の種類・方法など

	統計の種類	調査の方法		
統計	一次統計 (基礎統計)	調査統計	直接調査法	全数調査 標本調査
		業務統計	間接調査法	転用
	二次統計(加工統計)			推計

調査統計

...統計を作成するために統計調査を実施し、その結果により作成した統計。
国勢調査、経済センサス(全数調査)、労働力調査、家計調査(標本調査)など

業務統計

...行政記録等、既存の業務記録から作成した統計。
住民基本台帳人口、貿易統計、有効求人倍率など

加工統計

...一次統計等のデータを加工して作成した統計。
県民経済計算、産業連関表、消費者物価指数など

(2) 調査の考え方

詳細調査

簡易調査

簡易調査

簡易調査

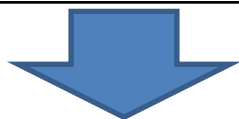
- 全数調査などの詳しい調査で、構造をつかむ
- 簡易な調査で全体の動きを追う
- 両者を組み合わせれば、全体の動きがわかる

(3) 統計の分野

調査統計（直接調査）

構造統計	全体構造を把握する基礎的な統計調査。 国勢調査、経済センサス、農林業センサスなど (センサスのような全数調査が多いが、標本調査になることも)
動態統計	活動の短期的動向を把握する統計。 生産動態統計調査、商業動態統計調査など (標本調査になることが多い)

業務統計 (間接調査)	すでに、他の目的で作られている記録を使って、間接的に統計を作る方法。
----------------	------------------------------------



構造統計と動態統計及び業務統計を組み合わせて、
全体推計や加工統計を作成。

例) 経済産業省の統計

統計の分野		鉱工業	商業	サービス業
一次統計	構造統計	経済センサス-活動調査(5年)		
		工業統計調査 (毎年)	商業統計調査 (5年)	特定サービス産業実態調査 (毎年)
	動態統計	生産動態統計調査(毎月) 特定業種石油等消費統計調査(毎月)	商業動態統計調査 (毎月)	特定サービス産業動態実態統計調査(毎月)
	企業統計	企業活動基本調査(毎年)など		
加工統計及び分析	一次統計をもとに指数化、加工された統計及び分析	鉱工業指数(IIP) (毎月)	第3次産業活動指数(毎月)	
		全産業活動指数(毎月)、産業活動分析(四半期)、産業連関表(5年ごとに基本表)		

2-1 一次統計

2-1(1) 構造統計

2-1(2) 動態統計

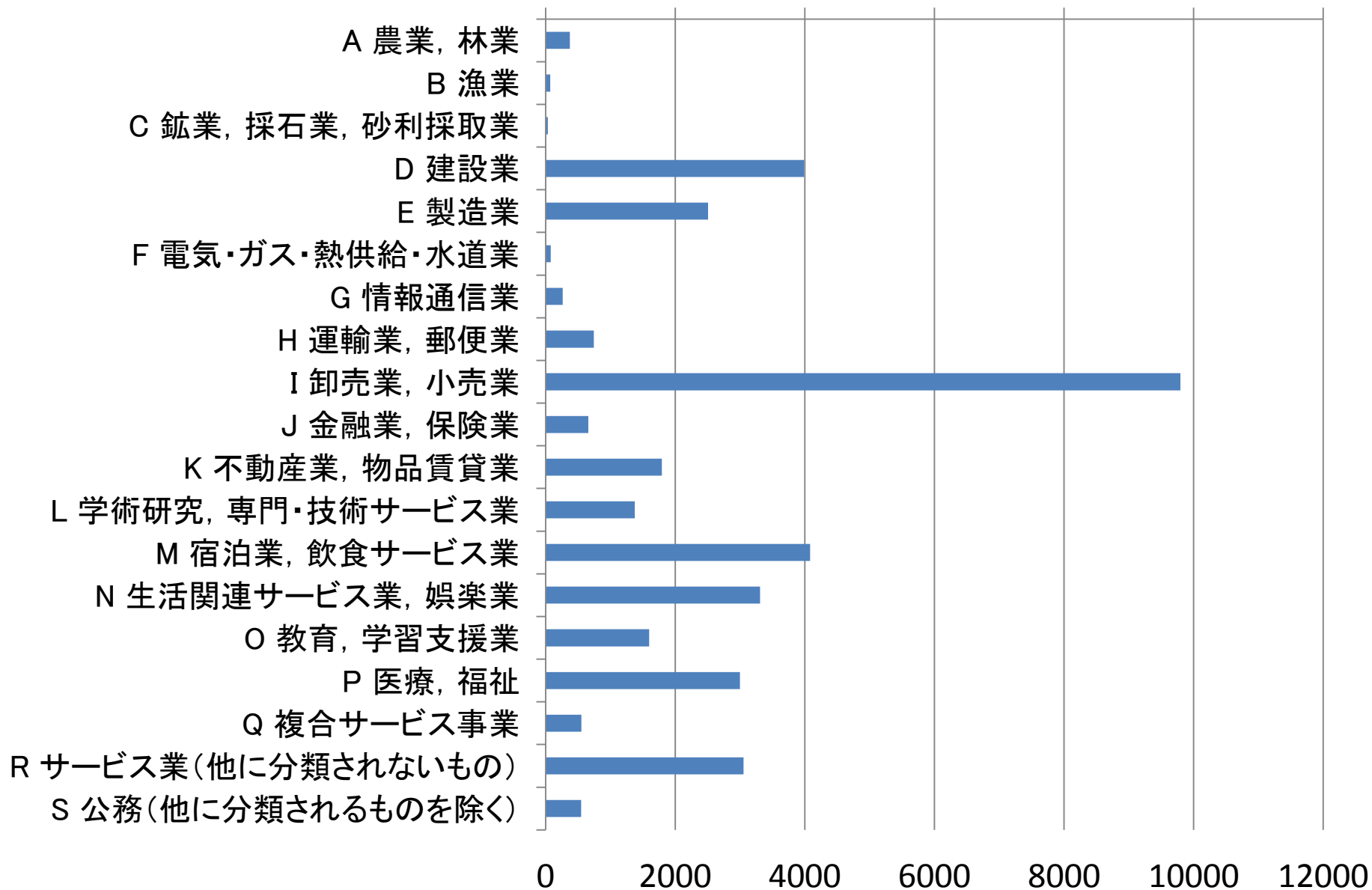
2-1(1)構造統計

- 全体の構造を大きくつかむ調査
- 手間も時間もお金もかかる
- 例
 - 国勢調査(総務省、全数調査)
 - 経済センサス(総務省・経産省、全数調査)
 - 工業統計(経済産業省、作為抽出調査)
 - 全国消費実態調査(総務省、無作為抽出調査)

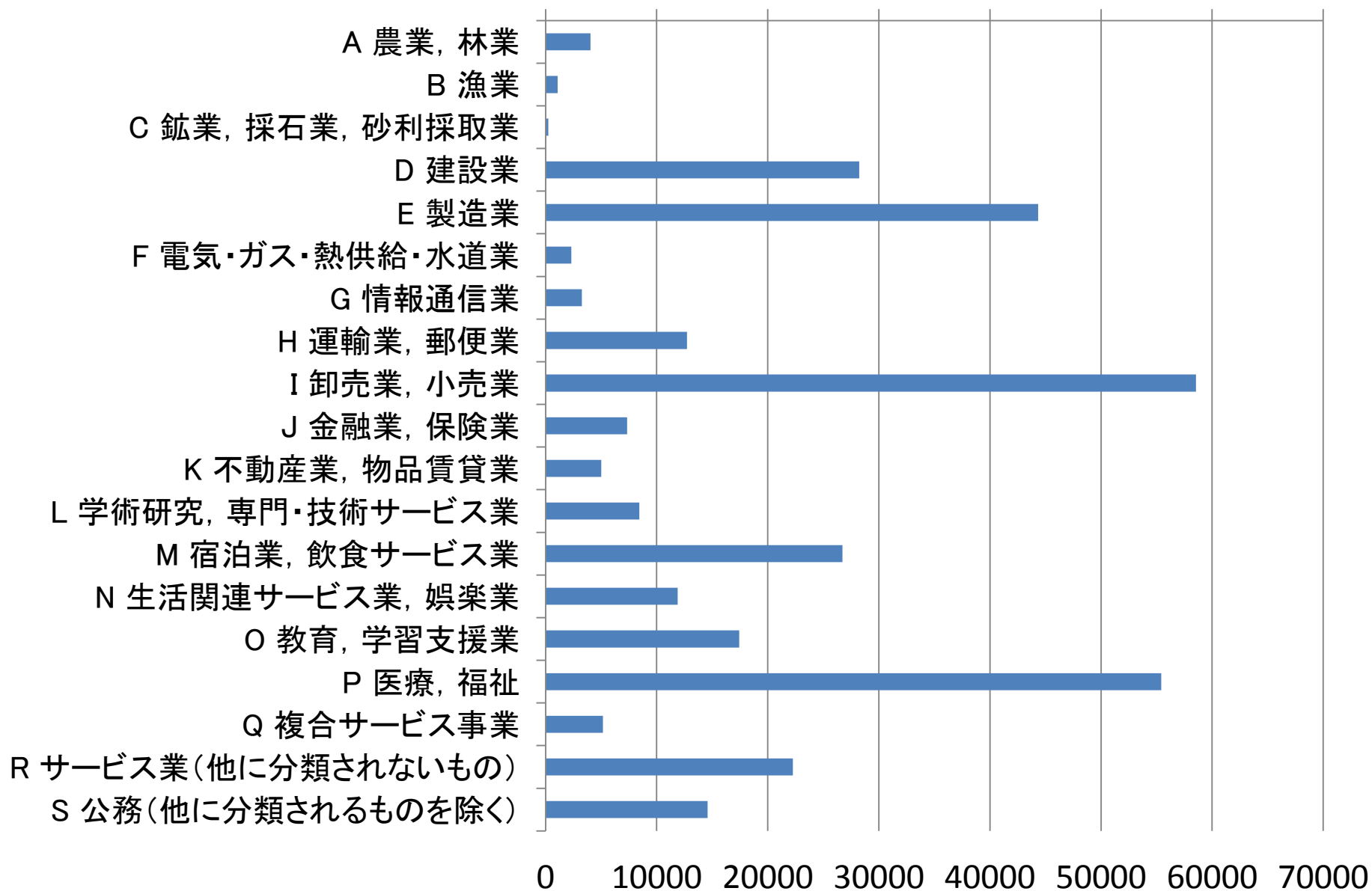
経済センサス

- すべての産業の実態を知る
 - 結果は各種統計の基礎に
- 5年ごとの調査
 - 基礎調査で、事業所の所在を確認
第1回は平成21年、第2回は平成25年
 - 活動調査で、事業所の生産額などを把握
第1回が平成23年、第2回が平成28年
- 今年6月1日付で第2回活動調査を実施。

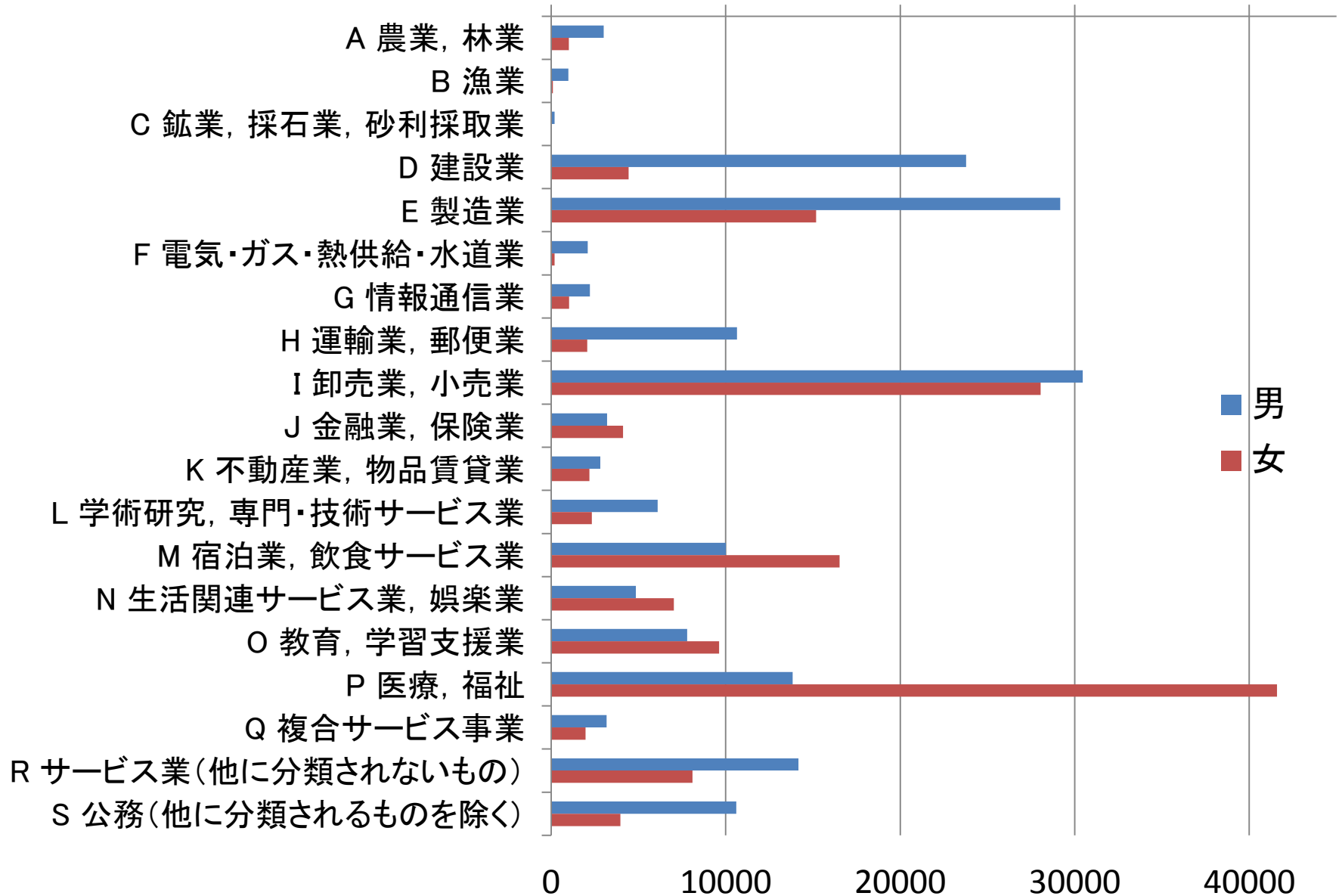
産業別事業所数 (H26基礎調査)



産業別従業者数(H26基礎調査)



産業別従業者数(男女別)



日本統計地図 Statistical Maps of Japan

平成26年経済センサス-基礎調査(総事業所)

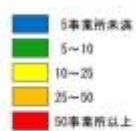
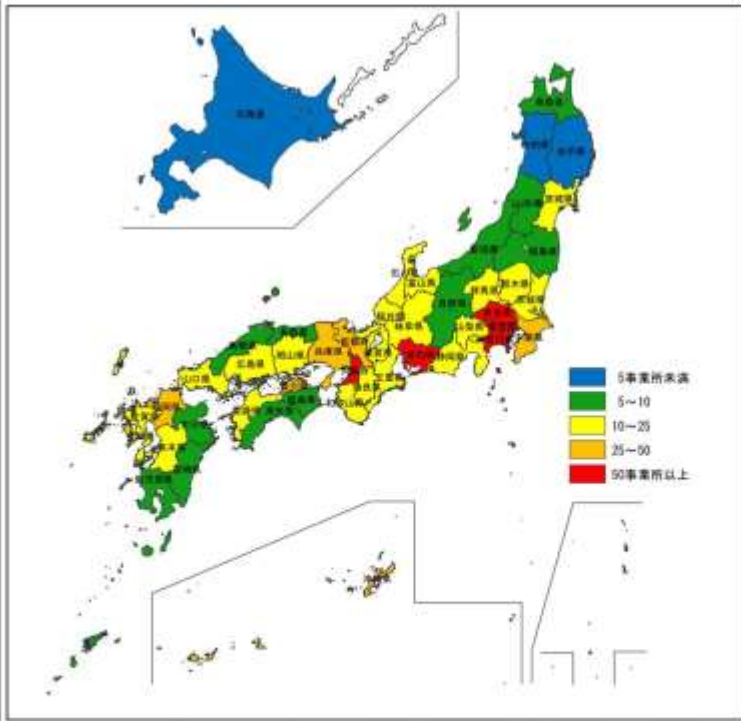
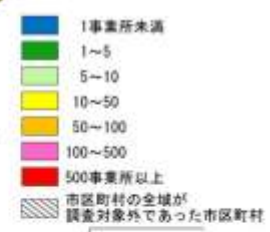
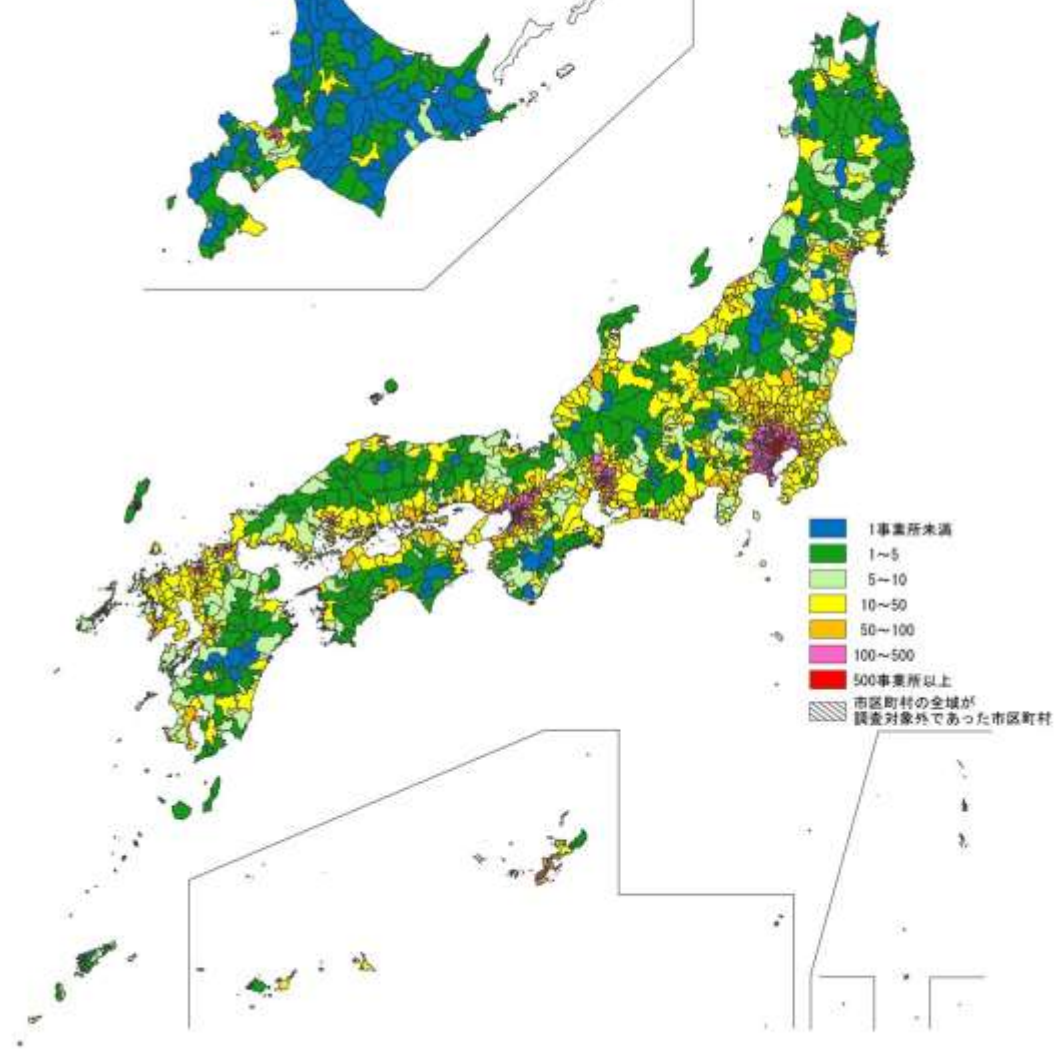
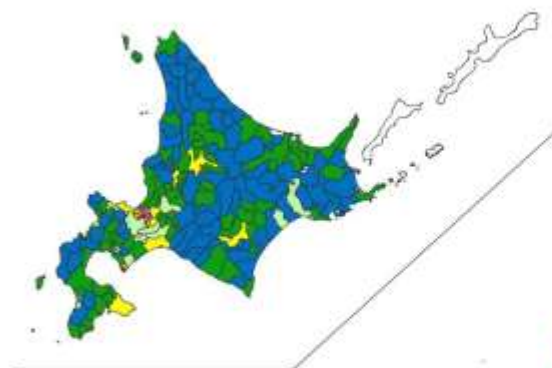
2014 ECONOMIC CENSUS FOR BUSINESS FRAME

都道府県・市区町村別 事業所密度

事業所密度: 1km²当たり事業所数

Establishments Density

by Prefecture and by Shi, Ku, Machi and Mura
(Establishments per Square Kilometer)



平成26年経済センサス-基礎調査の集計結果については、URL: <http://www.stat.go.jp/data/e-census/2014/index.htm> をご覧ください。

2-1(2) 動態統計

- 毎月の動きを詳細につかむ簡易調査
- 例
 - 人口移動調査(総務省等、業務統計)
 - 商業動態統計調査(経済産業省、抽出調査)
 - 経済産業省生産動態統計調査(抽出調査)
 - 家計調査(総務省)

経済産業省生産動態調査

- 製造業の生産動向を知る
- 一定の規模以上の工場に、毎月の調査
 - 全国のみ、各産業別
- この結果を元に、鉱工業指数などを作成

生産動態調査の対象業種

- 1 鉄鋼業
- 2 非鉄金属工業
- 3 金属製品工業
- 4 はん用・生産用・業務用
機械工業
- 5 電子部品・デバイス工業
- 6 電気機械工業
- 7 情報通信機械工業
- 8 輸送機械工業
- 9 窯業・土石製品工業
- 10 化学工業
- 11 石油・石炭製品工業
- 12 プラスチック製品工業
- 13 パルプ・紙・紙加工品工
業
- 14 繊維工業
- 15 その他の工業
- 16 鉱業

100以上の品目について調査
→ バラバラのものを比較できる？

2-2. 二次統計(加工統計)

- さまざまな一次統計から作成する統計
- 人口推計、鉱工業生産指数など

鋳工業指数

- 鋳工業生産動態統計調査から、毎月作成
- 各品目ごとに毎月の生産状況を、生産、出荷、在庫、について指数化
- 全国だけでなく、各ブロックごと、都道府県ごとにも作成
- 信頼性も高い
- この統計を元に、経済施策がつけられる

表1. 業種別生産指数(原指数・季節調整済指数)

(平成22年=100)

業 種	ウエイト	原 指 数					季節調整済指数		
		H28年 4月	対前月 比(%)	対前年同月		H28年 4月	対前月		
				比(%)	寄与率(%)		比(%)	寄与率(%)	
鉱 工 業	10,000.0	116.2	▲ 5.6	0.6	100.0	118.2	2.1	100.0	
製造工業	9,926.9	116.3	▲ 5.7	0.7	113.5	118.3	2.1	99.3	
鉄鋼業	2,128.1	99.7	▲ 7.0	▲ 7.2	▲ 234.1	99.9	▲ 7.5	▲ 71.8	
非鉄金属工業	159.6	118.6	▲ 2.8	7.6	19.2	119.1	▲ 0.9	▲ 0.7	
金属製品工業	193.5	97.2	▲ 39.0	▲ 1.2	▲ 3.3	96.1	▲ 30.3	▲ 33.7	
はん用・生産用・業務用機械工業	1,496.7	135.2	▲ 12.8	5.7	156.1	140.5	9.5	76.1	
電気機械・情報通信機械工業	545.8	59.7	▲ 28.2	▲ 18.4	▲ 105.3	63.3	▲ 11.0	▲ 17.7	
電子部品・デバイス工業	1,805.8	177.6	6.0	6.7	286.3	169.5	3.3	40.6	
輸送機械工業	795.3	96.8	▲ 3.3	11.3	111.3	107.0	14.0	43.4	
窯業・土石製品工業	340.6	74.9	▲ 14.4	▲ 8.4	▲ 33.6	78.6	1.9	2.1	
化学工業	319.0	112.9	▲ 0.5	▲ 14.1	▲ 84.3	116.1	0.4	0.7	
プラスチック製品工業	180.6	99.1	17.8	▲ 7.6	▲ 20.9	93.1	7.9	5.1	
パルプ・紙・紙加工品工業	299.7	86.1	▲ 12.2	▲ 2.6	▲ 9.8	85.2	3.4	3.5	
繊維工業	354.6	97.5	▲ 0.4	▲ 10.1	▲ 55.7	94.3	2.9	4.0	
食料品・たばこ工業	720.3	95.2	▲ 3.9	2.1	20.6	101.1	7.3	20.7	
その他工業	587.3	108.2	▲ 7.8	8.0	67.1	106.4	7.8	18.8	
鉱 業	73.1	109.8	11.9	▲ 6.4	▲ 7.8	105.6	15.5	4.3	

言葉の説明

- 数字の比較

前月比=(今月の値-前月の値)÷前月の値

前年比=(今年の値-前年の値)÷前年の値

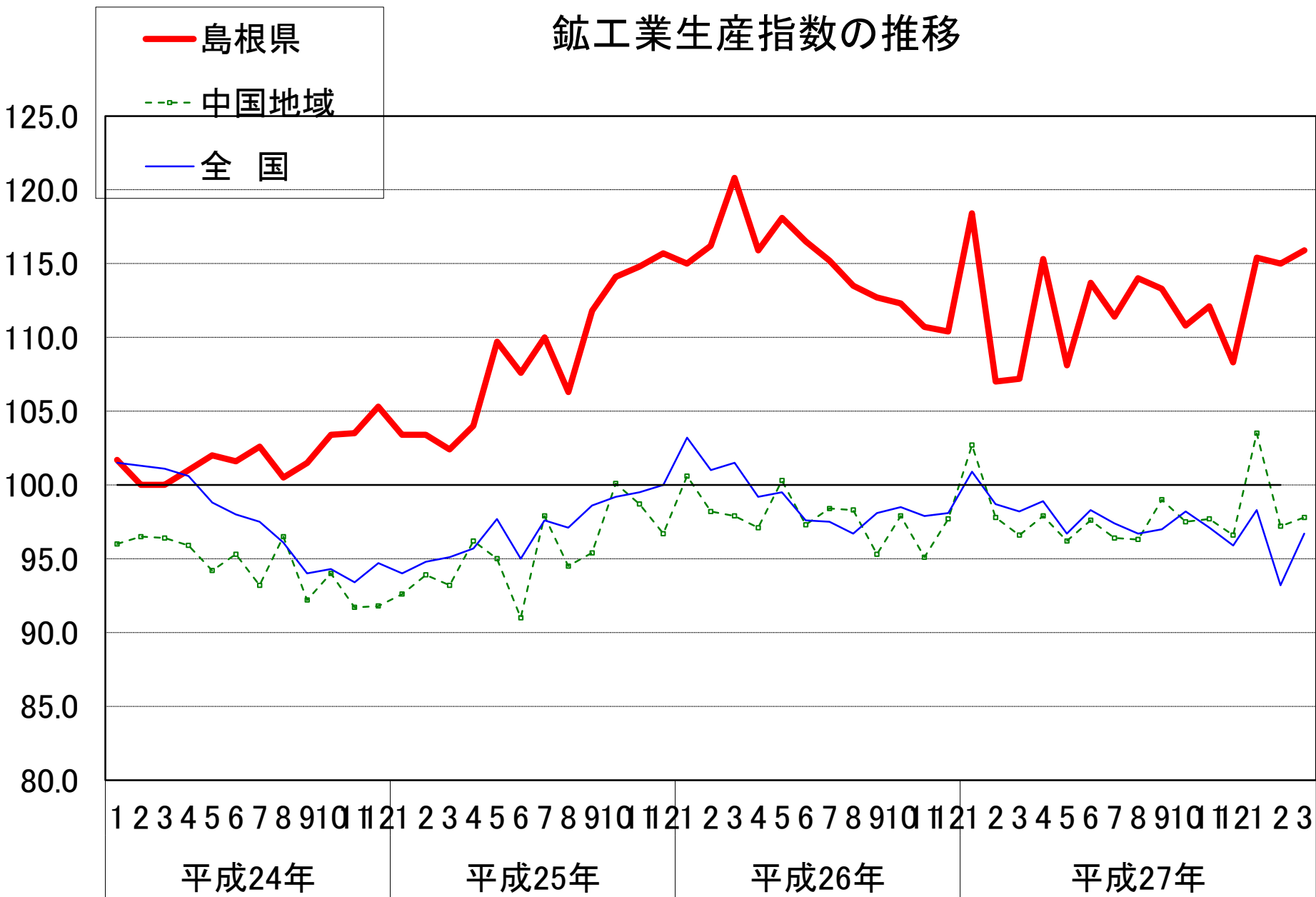
- ※月は季節調整値で、年は原指数で、比較します。

- 寄与率

寄与率=(今回の各構成要素-前回の各構成要素)
÷(今回の全体の数字-前回の全体の数字)×100

- あるデータを構成する項目の増減が、全体をどのくらい押し上げたり、押し下げたりしているかを構成比で見た指標。

鉱工業生産指数の推移



さまざまな産業の生産を指数化して、製造業全体の動きとして示している

言葉の説明(2)

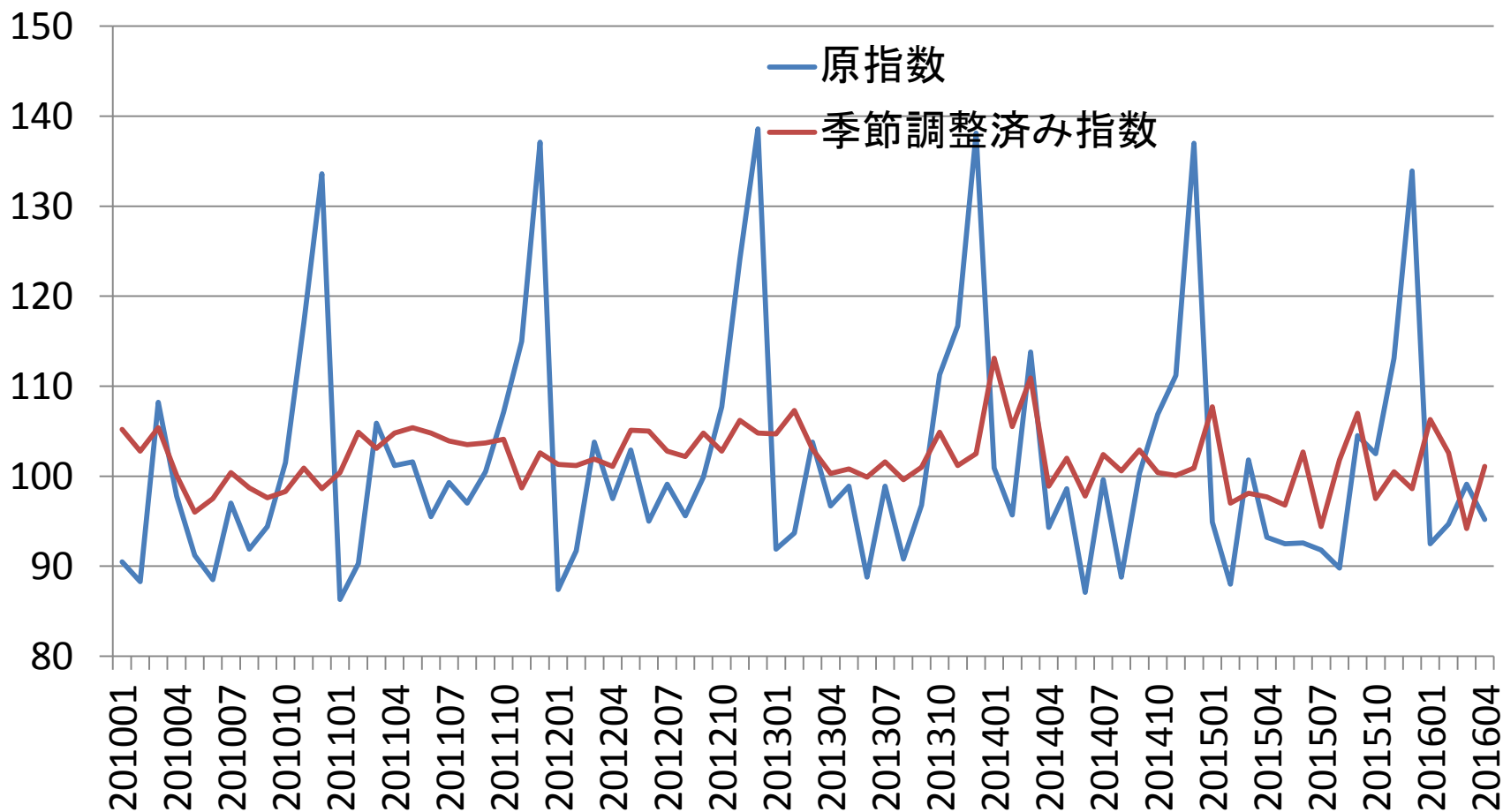
- 季節調整値

「一年の中での傾向」を、過去のデータやその年の土日の数などから導いて、今月の実際の値に、ハンディをつけた後の、「季節調整値」を計算します。

季節調整値同士であれば、先月と今月で比べることが可能となり、今どうなっているのかがわかるようになります。

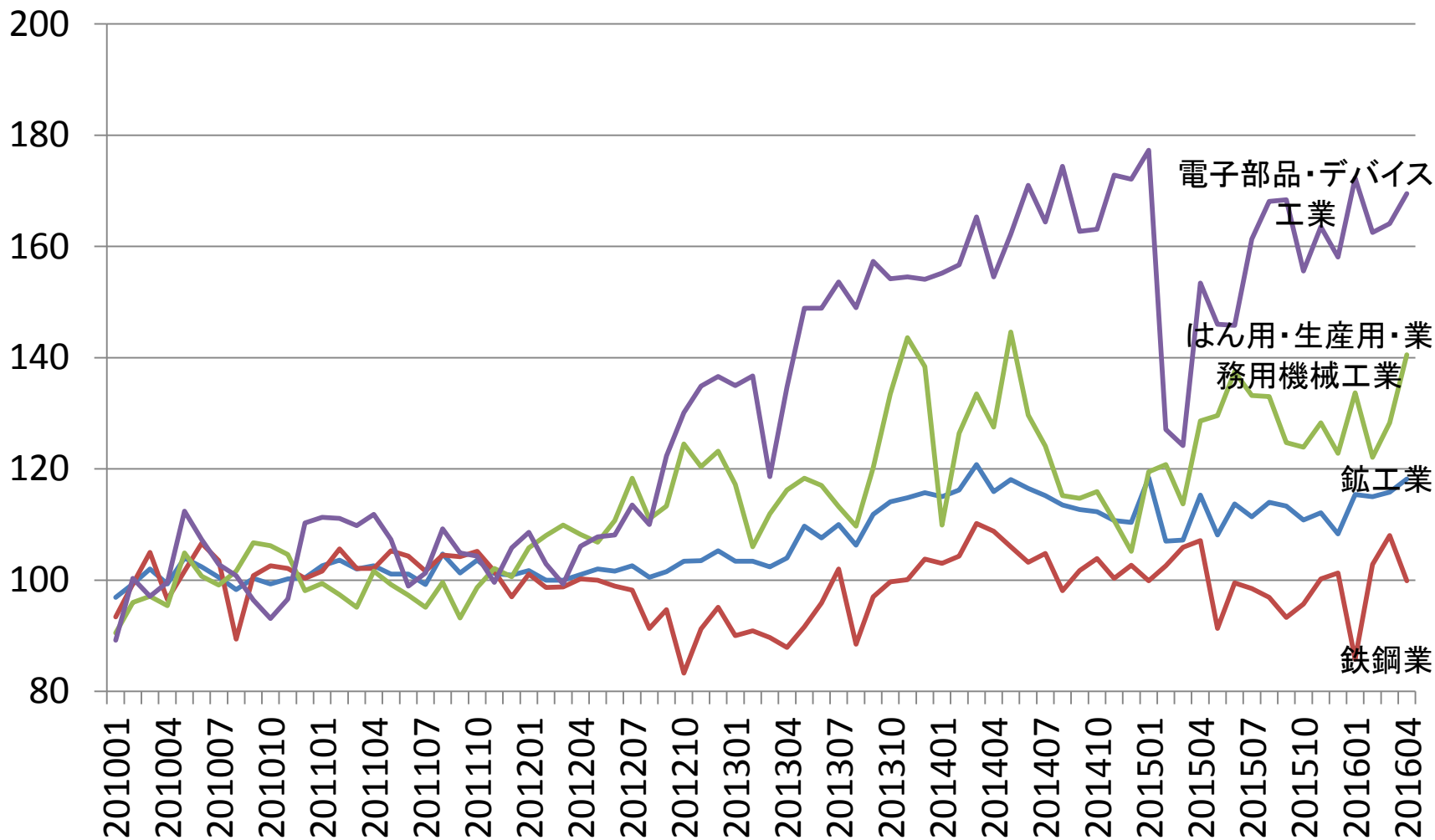
ただし、季節調整値で比較をするのは、今月・先月(月単位)か四半期までで、年の値(年平均や前年同月)を比較するときは原指数の値で比較するのが一般的です。

食料品・たばこ工業の動き



周期的な動きをする部門では、前月との比較に注意が必要
→季節調整

島根県主要品目の製造業の動き



2-3 加工と分析

- 調査統計や加工統計を駆使して、さまざまな分析や将来予測
 - 経済予測
 - 国民経済計算(GDP)、県民経済計算、景気動向指数、産業連関表(IO)など
 - 人口予測
 - 将来人口推計(社人研)など
 - これらの結果は、政策決定の参考資料に

2-3(1) 国民経済計算・県民経済計算

- その年の「経常利益」＝「付加価値」を示す。
 - 産業別(生産)、収入別(分配)、支出別
 - 工業統計や商業統計などから、毎年作成



- わかること
 - 経済規模、経済成長率、産業構造、所得水準、消費額など

(1)生産面

経済活動別県内総生産

(単位：億円、%)

項目	実額	対前年度増加率	構成比	備考
1. 産業	18,833	1.6	80.1	公的企業含む
(1) 農林水産業	447	▲ 1.9	1.9	
(2) 鉱業	26	10.1	0.1	採石製造業含む
(3) 製造業	3,288	2.3	14.0	
(4) 建設業	2,154	4.4	9.2	土木・建築・補修
(5) 電気・ガス・水道業	748	4.6	3.2	廃棄物処理業含む
(6) 卸売・小売業	2,353	0.8	10.0	
(7) 金融・保険業	728	▲ 3.7	3.1	
(8) 不動産業	3,163	0.4	13.5	帰属家賃含む
(9) 運輸業	675	▲ 7.4	2.9	
(10) 情報通信業	705	4.6	3.0	
(11) サービス業	4,545	2.9	19.3	
2. 政府サービス生産者	3,821	▲ 1.7	16.3	国・県・市町村等
(1) 電気・ガス・水道業	179	▲ 1.6	0.8	公営企業
(2) サービス業	1,200	▲ 3.0	5.1	教育・学術機関
(3) 公務	2,442	▲ 1.0	10.4	
3. 対家計民間非営利サービス生産者	655	▲ 0.5	2.8	
(1) サービス業	655	▲ 0.5	2.8	
4. 小計 (1+2+3)	23,309	1.0	99.2	
5. 輸入品に課される税・関税	312	12.0	1.3	
6. (控除) 総資本形成に係る消費税	113	1.1	0.5	
7. 県内総生産(4+5-6)	23,508	1.1	100.0	県内総生産(生産側)

(注)「帰属家賃」とは、持ち家に住むことを、市中の家賃で評価するといくらになるかを計算したものの。

(2)分配面

(単位：億円、%)

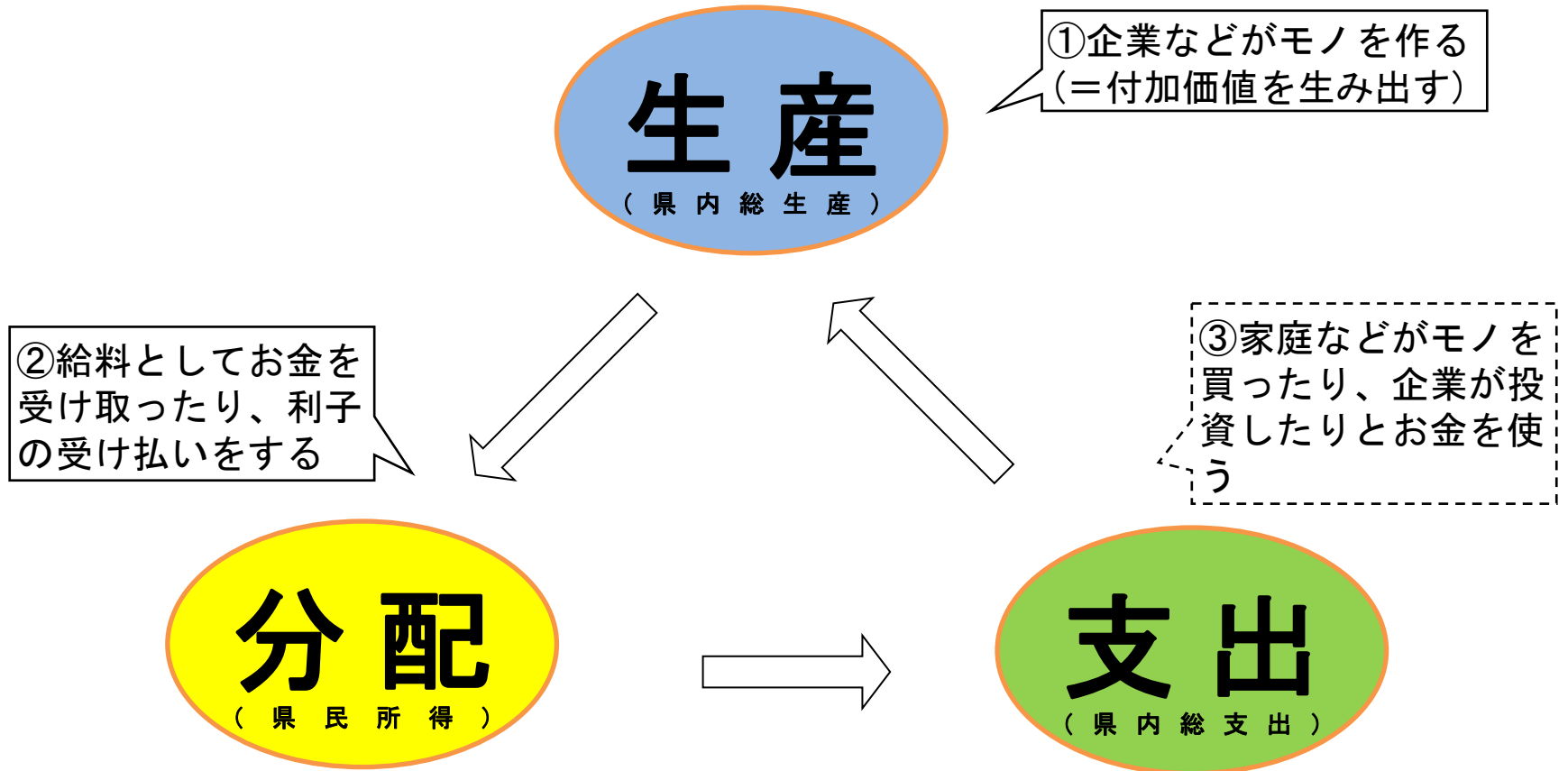
項目	実額	対前年度 増加率	構成比	備考
1. 雇 用 者 報 酬	11,536	0.3	67.8	
(1) 賃 金 ・ 俸 給	9,574	0.4	56.3	給与・手当等
(2) 雇 主 の 社 会 負 担	1,963	▲ 0.2	11.5	年金の雇主負担等
2. 財 産 所 得	668	22.8	3.9	利子・配当等
(1) 一 般 政 府	▲ 174	40.4	▲ 1.0	
(2) 家 計	819	0.7	4.8	
(3) 対家計民間非営利団体	23	2.5	0.1	
3. 企 業 所 得	4,812	2.7	28.3	経常利益に相当
(1) 民 間 法 人 企 業	2,741	2.4	16.1	
(2) 公 的 企 業	▲ 160	▲ 2.5	▲ 0.9	
(3) 個 人 企 業	2,231	3.0	13.1	
4. 県 民 所 得 (1+2+3)	17,016	1.7	100.0	
5. 生 産 ・ 輸 入 品 に 課 さ れ る 税 (控 除) 補 助 金	1,424	2.2		
6. そ の 他 の 経 常 移 転 (純)	6,987	▲ 3.9		
7. 県 民 可 処 分 所 得 (4+5+6)	25,428	0.1		

(3)支出面

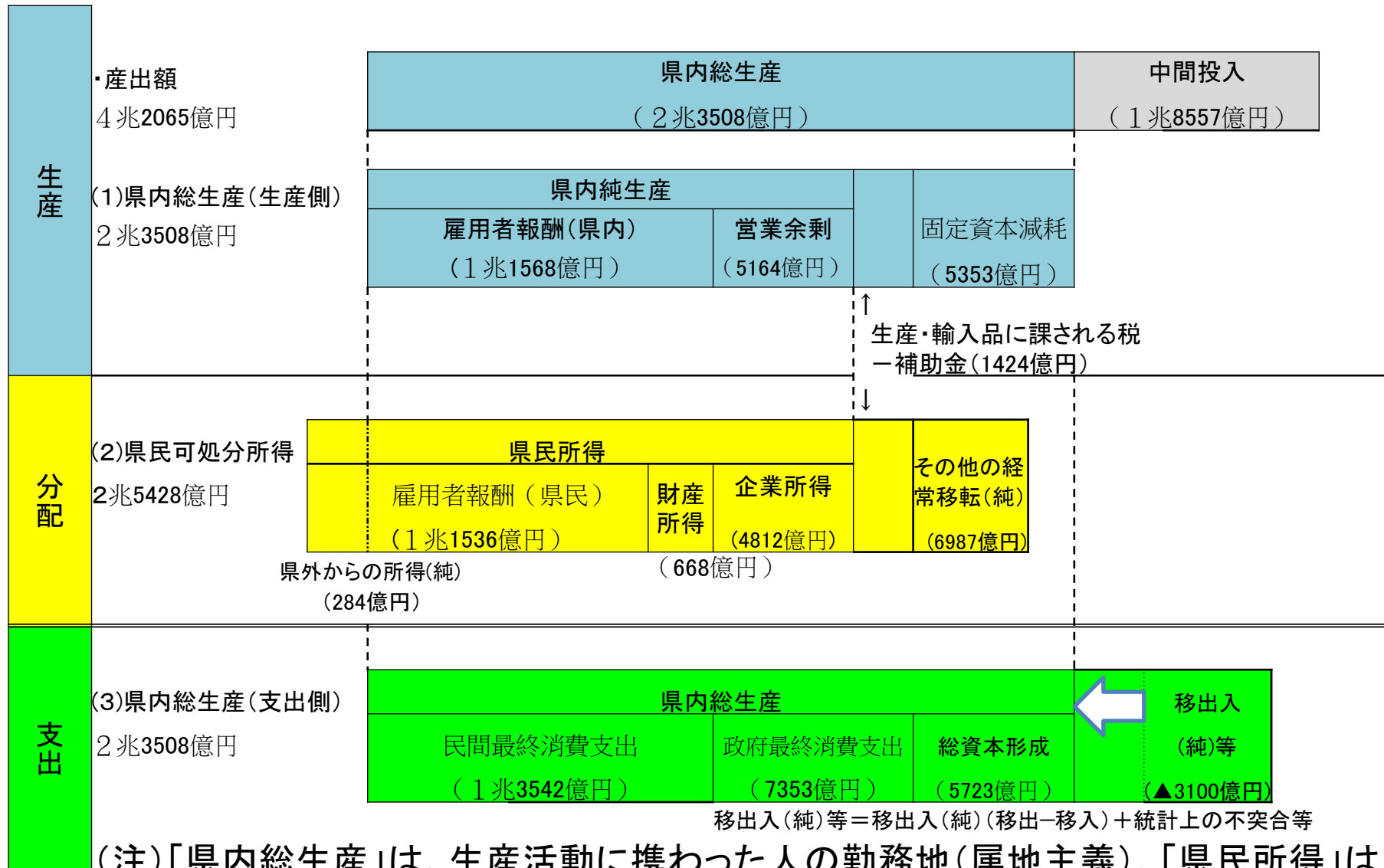
(単位：億円、%)

項目	実額	対前年度 増加率	構成比	備考
1. 民間最終消費支出	13,542	3.0	57.6	家計+民間非営利
(1) 家計	13,040	2.9	55.5	
(2) 対家計民間非営利団体	502	4.9	2.1	
2. 政府最終消費支出	7,353	0.3	31.3	
3. 県内総資本形成	5,723	6.4	24.3	
(1) 総固定資本形成	5,740	5.1	24.4	
a. 民間	3,449	5.4	14.7	
(a) 住宅	600	31.5	2.6	住宅建設
(b) 企業設備	2,849	1.1	12.1	機械、設備、建物
b. 公的	2,292	4.7	9.7	
(a) 住宅	45	24.6	0.2	公営住宅
(b) 企業設備	207	20.3	0.9	公営企業の設備
(c) 一般政府	2,040	3.0	8.7	庁舎等
(2) 在庫品増加	▲ 18	-	▲ 0.1	
4. 財貨・サービスの純移出等	▲ 3,110	-	▲ 13.2	
(1) 財貨・サービスの純移出	▲ 2,246	-	▲ 9.6	
(2) 統計上の不突合	▲ 864	-	▲ 3.7	生産側との調整項目
県内総生産(1+2+3+4)	23,508	1.1	100.0	県内総生産(支出側)

3つの表の関係

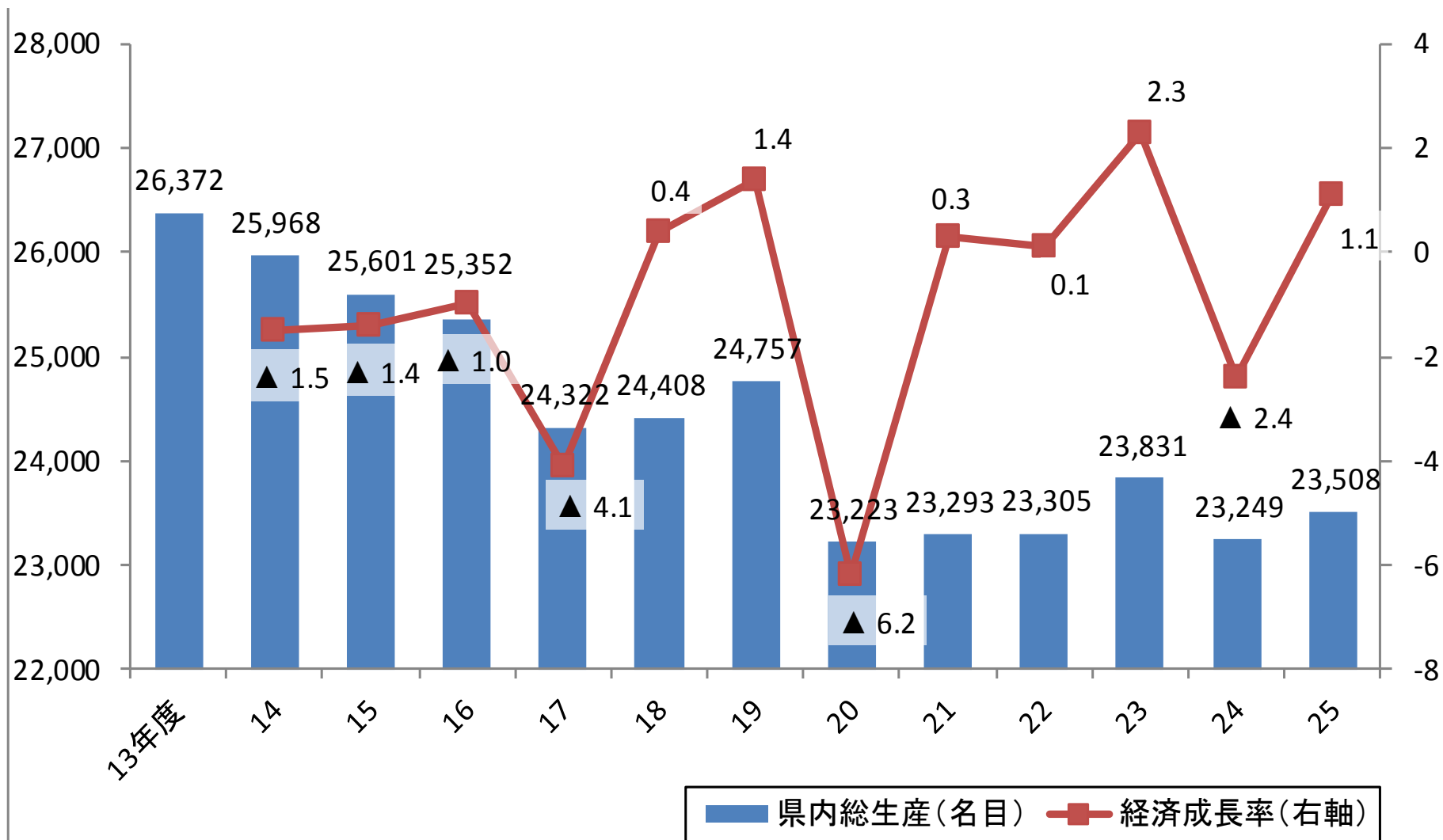


県民経済計算の相互関連図



(注)「県内総生産」は、生産活動に携わった人の勤務地(属地主義)、「県民所得」は、生産活動に携わった人(属人主義)に着目し推計。

県内総生産及び経済成長率の推移



(注)「経済成長率」とは県内総生産の対前年増加率を表します。

2-3(2) 産業連関表

- 各種統計資料を用いて、産業と産業の関係を数字で表現したもの
- 地域内の産業構造だけではなく、経済波及効果の予測もできる

		→ 産出量の配分			
↓ 投入量の配分		中間需要	最終需要	(控除) 移輸入	(≠県民経済計算の 産出額) 生産額
	中間投入	中間生産物の流れ (県民経済計算では捨象)	(≠県民経済計算の 県内総支出)		
	粗 値 額 付 加 価	(≠県民経済計算の 県内総生産)			
	生産額 (≠県民経済計算の産出額)				

需要部門(買い手)		中間需要				最終需要(県内)					(控除)	県内生産額
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	内生部門計	消費	固定資本形成	在庫純増	移輸出	最終需要合計	移輸入	
供給部門(売り手)												
中間投入	第1次産業	14,150	26,888	6,807	47,845	19066	478	8,239	64,305	92,089	-28,720	111,213
	第2次産業	20,120	650,332	273,488	943,939	292,121	669,228	719	923,611	1,885,678	-1,255,032	1,574,585
	第3次産業	14,195	362,776	619,845	996,816	1,930,256	33,457	1,135	435,369	2,400,216	-556,021	2,841,011
	内生部門計	48,465	1,039,996	900,140	1,988,600	2,241,443	703,162	10,093	1,423,285	4,377,983	-1,839,774	4,526,810
粗付加価値	家計外消費支出(行)	1,146	28,899	52,445	82,489							
	雇用者所得	18,054	303,799	893,450	1,215,303							
	営業余剰	23,065	82,380	430,342	535,787							
	資本減耗引当	20,730	77,172	476,186	574,088							
	間接税(除関税)	3,155	45,084	103,334	151,573							
	(控除)経常補助金	-3,400	-2,745	-14,886	-21,031							
	粗付加価値部門計	62,749	534,589	1,940,871	2,538,209							
県内生産額		111,213	1,574,585	2,841,011	4,526,810							

経済波及効果の計算も

(単位：億円)

最終需要額

0.0

↓
〈自給率〉

最終需要のうち県内で生産された製品による供給部分

【 直接効果 】

県内最終需要額

粗付加価値誘発額

雇用者所得誘発額

0.0

↓
〈投入係数〉

県内最終需要を賄うために必要な原材料等

原材料等投入額

0.0

↓
〈自給率〉

原材料等のうち自給している部分

県産品需要額

0.0

↓
〈逆行列係数〉

この需要が直接・間接に生産を誘発する額

【 1次波及効果 】

第1次生産誘発額

粗付加価値誘発額

雇用者所得誘発額

0.0

↓
〈平均消費性向〉

0.708652

所得のうち消費支出に使用される金額

消費支出額

0.0

県民経済計算との関係

産業連関表	調整項目	県民経済計算
<p>最終需要部門計 = 家計外消費支出 + 民間消費支出 + 一般政府消費支出 + 県内総固定資本形成 + 在庫純増 + 移輸出 - 移輸入</p>	<p>- 家計外消費支出</p>	<p>≡ 県内総生産 (支出側)</p>
<p>粗付加価値計 = 家計外消費支出 + 雇用者所得 + 営業余剰 + 資本減耗引当 + 間接税 - 経常補助金</p>	<p>- 家計外消費支出</p>	<p>≡ 県内総生産 (生産側)</p>
<p>県内生産額 = 中間投入計 + 粗付加価値計 = 中間需要計 + 最終需要計 - 移輸入</p>		<p>≡ 生産者価格表示 の産出額</p>

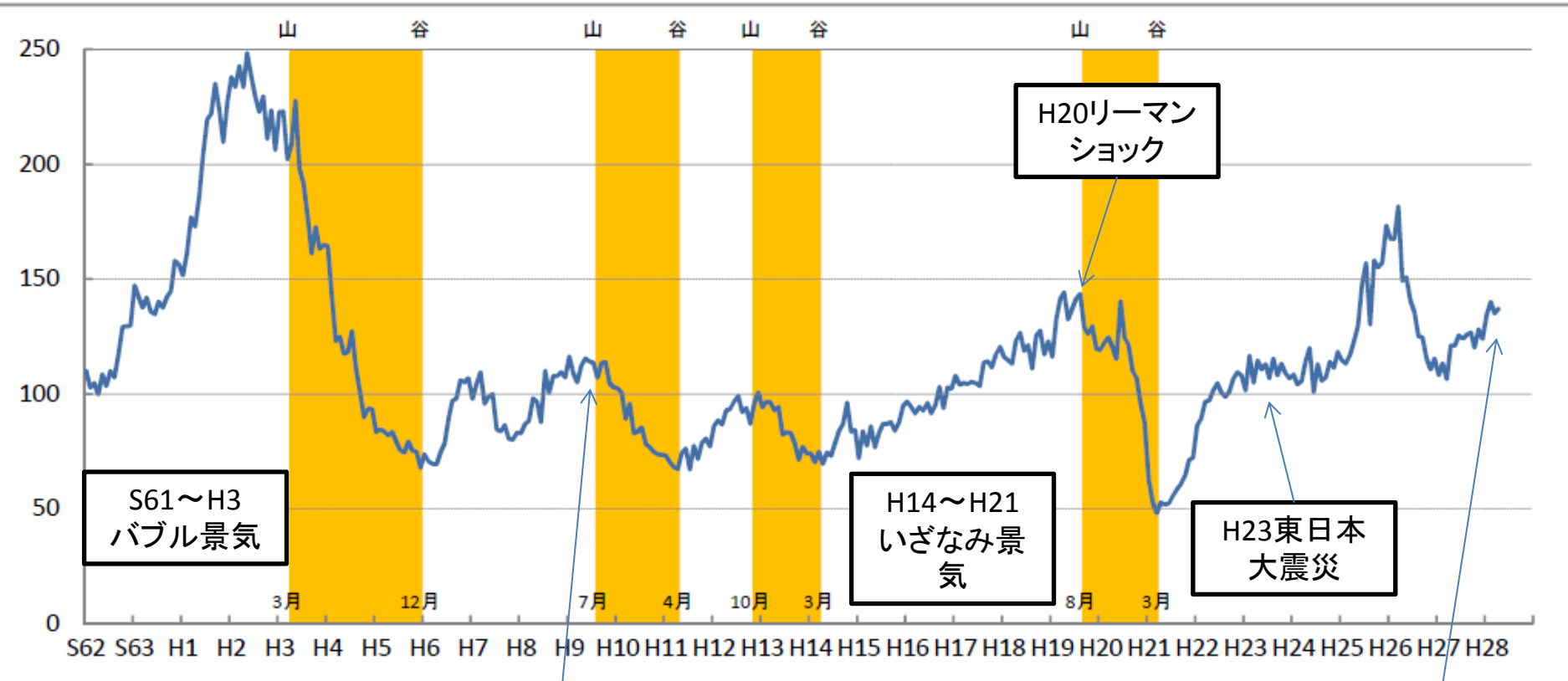
2-3(3) 島根県景気動向指数

- 毎月出る各種統計を集めて、その月々の景気の動向を、指数化。
 - 使っている指標は、有効求人倍率、鉱工業生産指数、百貨店・スーパー販売額など、合計23系列（先行系列7、一致系列9、遅行系列7）
 - CI(Composite Index)は、各指標の変化率を合成することにより、景気変動の大きさやテンポ(量感)を、基準年(平成22年)を100とした指数で表す。
- 景気の現状把握・将来予測に使う

島根県の景気動向指数の動き

(2) 一致指数 (Coincident Index)

(平成22年=100)



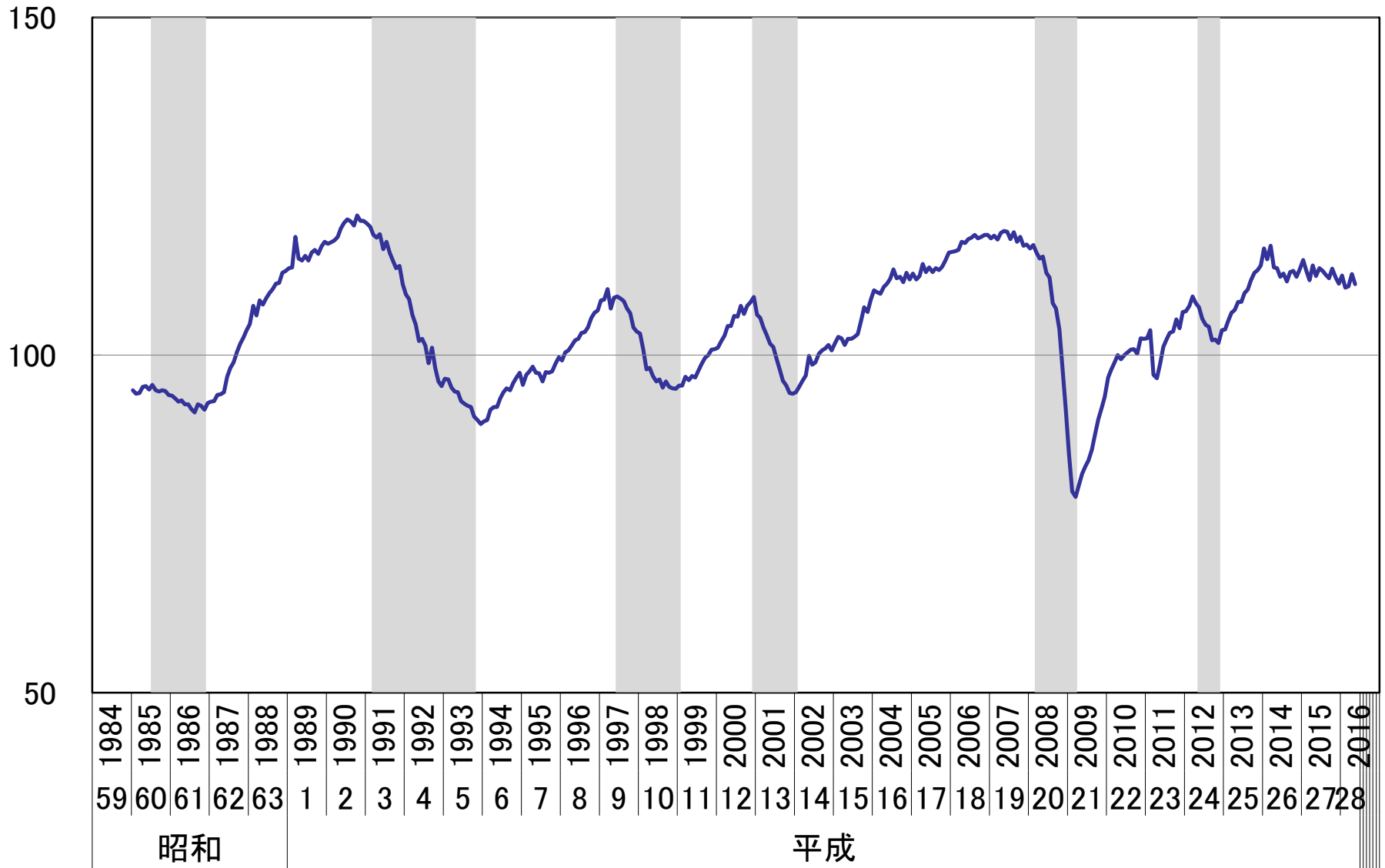
H9 消費税
引き上げ
(3%→5%)

H28消費税
引き上げ
(5%→8%)

一致系列の概要(島根県の場合)

一致系列	有効求人倍率(有効求人数／有効求職者数 学卒を除き、パートを含む)	厚生労働省職業安定局
	鉱工業生産指数	島根県統計調査課
	電力使用量(大口電力(500KW以上))	中国電力(株)島根支社
	実質百貨店・スーパー販売額(名目百貨店・スー パー販売額／消費者物価指数)	経済産業省中国経済産業局
	建築着工床面積(鉱業、建設業、製造業及び情 報通信業用建築物の床面積)	国土交通省総合政策局
	輸入通関実績(浜田・境支署管内輸入許可額)	神戸税関
	松江城入場者数(有料入場者数)	松江市観光文化課
	手形交換高(手形交換高のうち松江分)	(一社)島根県銀行協会
	鉄鋼業生産指数	島根県統計調査課

全国の一致指数の動き



内閣府「景気動向指数」より(平成28年7月12日(火))

一致系列の概要(国の場合)

一致系列

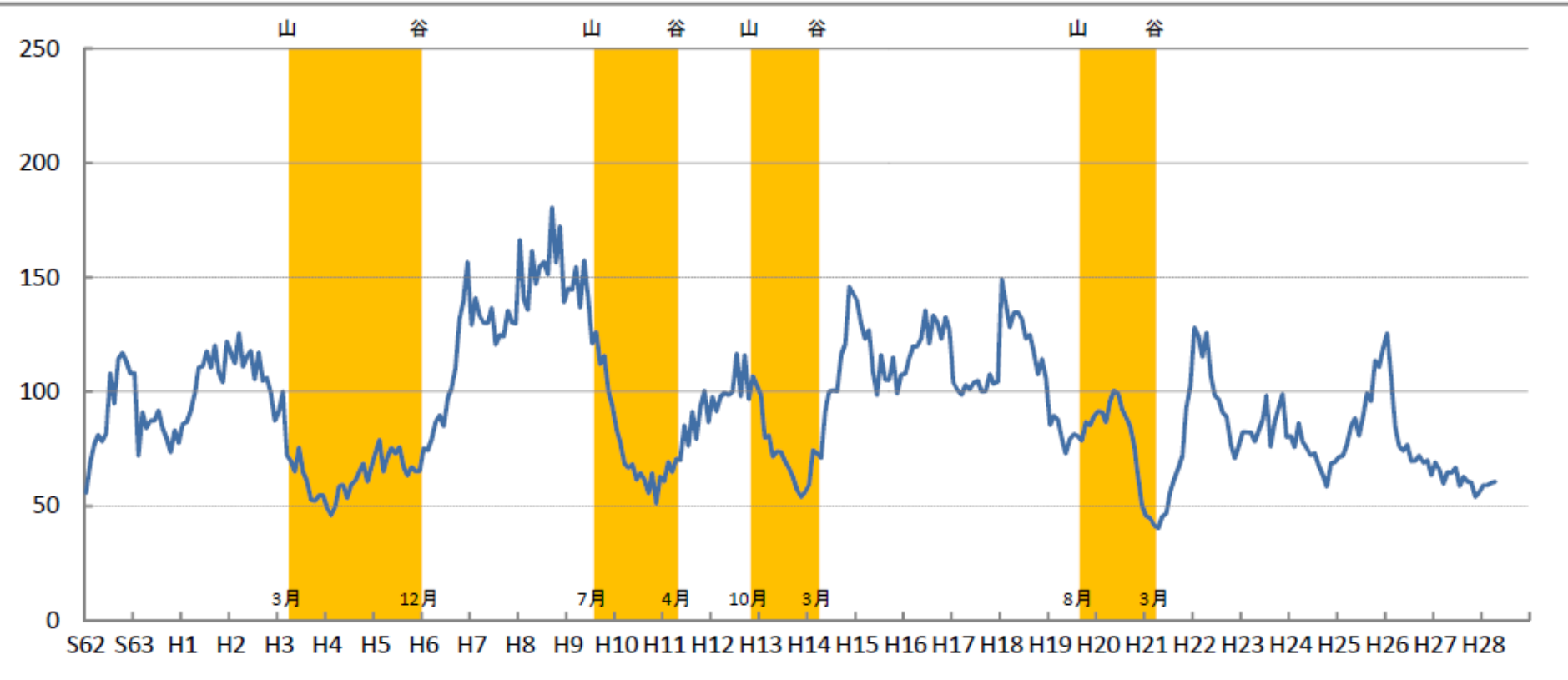
1. 生産指数(鉱工業)
2. 鉱工業用生産財出荷指数
3. 耐久消費財出荷指数
4. 所定外労働時間指数(調査産業計)
5. 投資財出荷指数(除輸送機械)
6. 商業販売額(小売業、前年同月比)
7. 商業販売額(卸売業、前年同月比)
8. 営業利益(全産業)
9. 中小企業出荷指数(製造業)
10. 有効求人倍率(除学卒)

景気動向指数には

- 先行指数
 - 一致指数に数ヶ月先行
 - 景気の動向を予測
- 遅行指数
 - 一致指数から数ヶ月から半年遅れる動き
 - 事後的な確認
- 三つあわせて景気の動きを見る

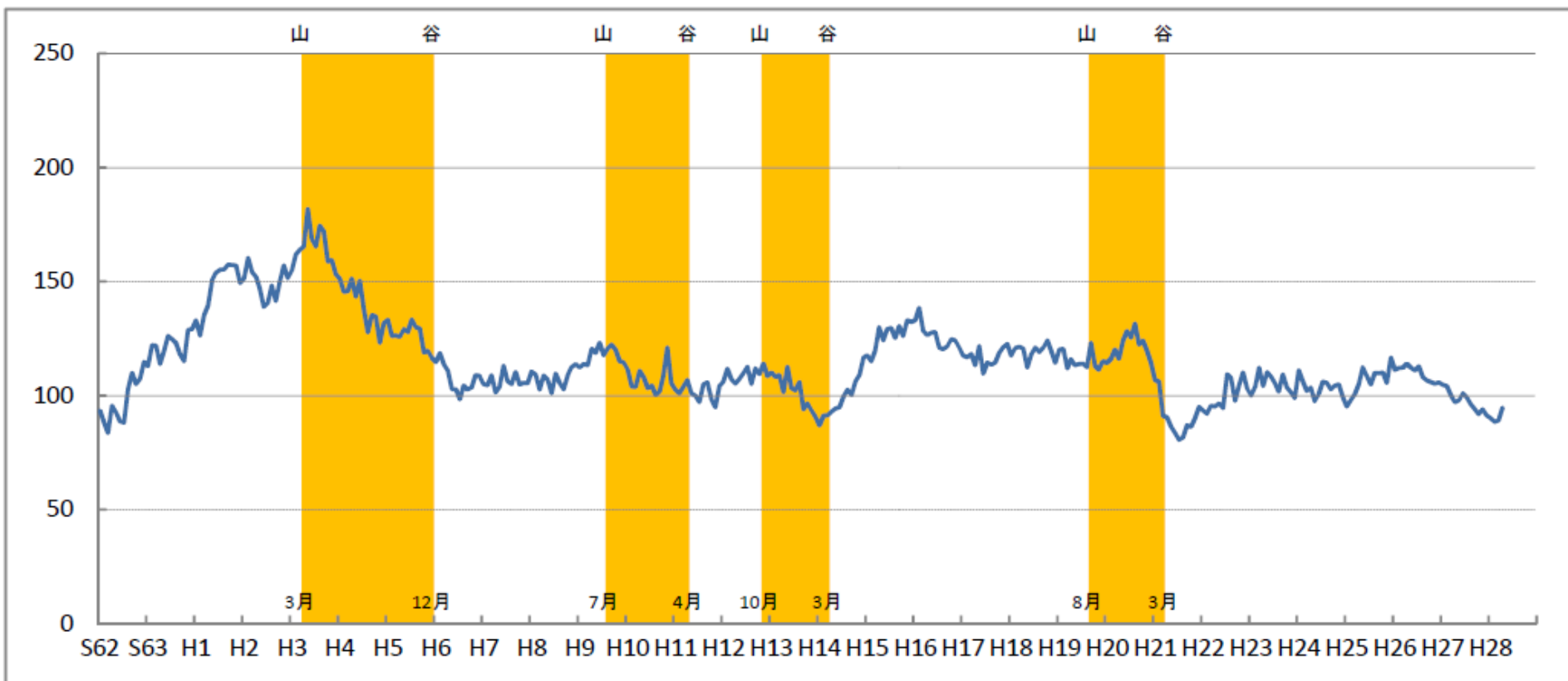
(1) 先行指数 (Leading Index)

(平成22年=100)



(3) 遅行指数(Lagging Index)

(平成22年=100)



2-3(4) 「島根県の経済動向」

- 統計指標を用いた分析
- 景気動向指数以外にも、他機関の経済動向資料や経済指標を用いて、経済情勢を判断。

経 済 指 標		前年同月比 (%) ただし*は除く。					
		11月	12月	1月	2月	3月	4月
生産活動	* 鉱工業生産指数 (季節調整済指数)	112.1	108.3	115.4	115.0	115.8	118.2
	" (原指数)	3.1	▲ 1.9	▲ 4.3	10.0	8.5	0.6
	大口電力需要実績	▲ 0.2	0.4	2.4	7.0	3.0	—
雇用情勢	* 有効求人倍率 (倍)	1.31	1.33	1.38	1.42	1.43	1.46
	新規求人数	2.9	9.5	19.0	23.6	11.6	11.9
	常用労働者数	1.5	1.7	0.5	0.0	0.1	▲ 0.1
	現金給与総額	▲ 0.1	1.8	2.6	2.6	2.7	2.0
	きまって支給する給与	▲ 0.5	▲ 0.9	1.0	2.8	3.4	1.7
	所定外労働時間 (製造業)	▲ 1.6	▲ 5.8	▲ 6.9	▲ 1.7	▲ 2.3	▲ 6.8
個人消費	百貨店・スーパー販売額	▲ 0.7	▲ 2.8	0.4	▲ 4.3	▲ 4.6	▲ 1.9
	ホームセンター販売額	▲ 1.8	▲ 6.4	7.8	1.6	2.3	10.7
	家電大型専門店販売額	▲ 1.6	▲ 3.4	3.5	▲ 3.9	▲ 3.3	4.3
	乗用車新車登録台数	▲ 14.2	▲ 25.2	▲ 4.6	▲ 6.8	▲ 14.1	4.2
	出雲空港利用者数	1.4	▲ 4.1	2.1	9.4	4.9	10.4
投資動向	建築着工床面積 (非居住用)	190.7	117.5	▲ 23.6	▲ 92.8	▲ 12.9	▲ 8.7
	公共工事請負金額	63.3	▲ 6.9	▲ 26.2	▲ 5.7	4.2	16.6
	新設住宅着工戸数	▲ 3.1	15.0	▲ 6.5	▲ 18.4	42.1	50.3
企業倒産	* 企業倒産件数 (件)	1	3	4	4	5	4
	* 負債総額 (百万円)	30	133	102	106	388	1,062
金融情勢	銀行預金残高	2.4	1.7	1.6	1.3	1.4	1.8
	銀行貸出金残高	3.5	3.4	2.4	2.9	4.4	3.7
物 価	* 消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	103.4	103.0	102.5	102.3	102.6	102.7
そ の 他	* 景気動向指数 (CI先行指数)	53.9	56.1	59.1	59.0	60.1	60.7
	* 景気動向指数 (CI一致指数)	128.1	124.1	134.4	140.0	135.1	137.2

島根県の経済動向

平成28年4月分

統 第 1 3 号 の 4
平成 2 8 年 7 月 5 日

政策企画局統計調査課

— 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、
引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている —

生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇒	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は118.2で前月比で2.1%上昇し、前年比は0.6%と3か月連続で上回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇒	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.46倍で前月より0.03ポイント上昇し、新規求人数は11.9%と10か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は2.0%と5か月連続で、きまって支給する給与は1.7%と4か月連続で前年を上回った。 雇用面は、緩やかな改善の動きが続き、所得面は、持ち直しの動きがみられる。
個人消費	⇒	～持ち直しの動き～	百貨店・スーパー販売額は▲1.9%と3か月連続で前年を下回った。ホームセンター販売額は10.7%と4か月連続で、家電大型専門店販売額は4.3%と3か月ぶりに前年を上回った。新車登録台数は4.2%と16か月ぶりに前年を上回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	⇒	～持ち直しに弱い動き～	建築着工床面積（非居住用）は▲8.7%と4か月連続で前年を下回った。公共工事請負金額は16.6%と、新設住宅着工戸数は50.3%と2か月連続で前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
企業倒産	⇒	～倒産件数4件～	企業倒産件数は4件。うち、建設業は1件、製造業は1件、卸売業は1件、小売業は1件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年3.7%増～	銀行預金残高は94か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は68か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.4%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は102.7となり、前年比は0.4%の下落となった。
その他 (参 考)		島根県景気動向指数 (CI) (平成28年7月5日公表)	C1先行指数は60.7となり、2か月連続の上昇となった。 C1一致指数は137.2となり、2か月ぶりの上昇となった。

3. 統計の活用を

- 他にも多くの統計を作成・公表
- 国でも多くのデータ
- 研究に、業務に、活用して下さい。

さまざまな統計

- しまね統計データベース
<http://pref.shimane-toukei.jp/>
- 政府統計の窓口 (e-Stat)
<http://www.e-stat.go.jp>
- 世界的なセンサス統計データの
情報 (UN data)
<http://data.un.org/>



データは自然や日常の暮らしにも

- 松江地方気象台
<http://www.jma-net.go.jp/matsue/>
- 理科年表データ
<http://www.rikanenpyo.jp/>
- スポーツ (野球、サッカー、テニス、バレー...)

傾向と対策を立てることも

他にもたくさんあるので、探してね。

A screenshot of the 'Rikanyouhyou' website. It features a map of Japan and the title '理科年表' (Science Yearbook). Below the title, there are details about the 2015 edition, including the date of release (November 2014) and a list of authors. There are also buttons for 'この本を買う' (Buy this book) and 'この本を借り' (Borrow this book).

An advertisement for a book titled 'なぜ全日本女子バレーは世界と互角に戦えるのか' (Why can the All Japan Women's Volleyball team compete with the world?). It features a photo of volleyball players and text about '勝利をつかむデータ分析術' (Data analysis techniques to win). The author is listed as 渡辺啓太 (Keita Watanabe).



どの統計?
分からないときは
こちらから!

Click ▶▶

(例)島根県の人口や世帯数
を調べる時は。

総合情報

- 市町村別情報
- 地域別・圏域別情報
- 都道府県別情報
- グラフで見る島根のすがた～17分野の過去から現在～
- しまね統計保管庫
- 地図で見る島根の統計
- 各種統計調査にご理解をお願いします。
- ヘルプ
- 利用の手引き
- 統計用語集
- リンク
- 統計関係リンク集
- 政府統計の総合窓口 e-Stat
- 島根県のその他の統計
- 島根県統計調査課ホームページ
- サイトマップ

【総合情報】
地域別・市町村別情報や、過去からのデータなどを閲覧・ダウンロードできます。

新着情報 >> 全ての情報を見る

- [2014/06/20] 島根県鉱工業生産指数年報(平成25年版)を掲載しました。
- [2014/06/20] 鉱工業生産指数 H26.4月速報を掲載しました。
- [2014/06/09] 月刊島根の統計5月号を掲載しました。
- [2014/05/30] 松江市消費者物価指数H26.4月分を掲載しました。
- [2014/05/28] 推計人口H26.5.1現在を掲載しました。

今月の統計指標

前月指数	121.8
前月比	▲5.6%
前年同月比	+10.6%
全国	99.3
中国地域	98.4

有効求人倍率(*)
今月倍率(4月) 1.20倍

【分野別一覧】
目的の調査項目ごとに分類されています。
各調査ごとに時系列で統計データを掲載しています。

分野別一覧

- 人口・世帯**
[国勢調査](#) / [推計人口](#) / [世帯数](#) / [将来推計人口・世帯数](#)
- 農林水産業**
[農林業センサス](#) / [漁業センサス](#)
- 住宅・土地**
[住宅・土地統計調査](#)
- 物価・家計・生活**
[消費者物価指数](#) / [家計調査](#) / [社会生活基本調査](#)
- 教育・学校**
[学校基本調査](#) / [学校保健統計調査](#)
- 刊行物・その他**
[島根県統計書](#) / [月刊島根の統計](#) / [統計指標でみる島根のすがた](#) / [統計でみる都道府県のすがた](#) / [統計でみる市区町村のすがた](#) / [学校副読本\(復刻\)](#)
- 事業所・企業**
[経済センサス-活動調査](#) / [経済センサス-基礎調査](#) / [事業所・企業統計調査](#) / [平成13年事業所・企業統計調査に関する島根県地域メッシュ統計地図](#)
- 鉱工業**
[工業統計調査](#) / [鉱工業生産指数](#)

【e-Stat 政府統計の窓口】
各府省等が登録した統計データ、公表予定、新着情報、調査票項目情報などの各種統計情報を閲覧できます。

【学校副読本】
小学校向け・中学校向けに作成した副読本を復刻しています。わかりやすいので、ぜひ、ご覧下さい。



統計データを探す



地図や図表で見る



調査項目を調べる



統計サイト検索・
リンク集



ログイン

ログイン



統計データを探す

様々な府省が管理している統計データを検索できます。

- ▶ [主要な統計から探す](#)
- ▶ [政府統計全体から探す](#)

キーワード検索(条件指定)

検索



地図や図表で見る

地図や図表により統計データを“見える化”できます。

- ▶ [図表で見る日本の主要指標](#)
- ▶ [都道府県・市区町村のすがた](#)
- ▶ [地図で見る統計\(統計GIS\)](#)
- ▶ [地図による小地域分析\(jSTAT MAP\)](#)
- ▶ [統計年鑑等の統計書](#)
(総務省統計局)



調査項目を調べる

統計データの基本となる用語やコードを説明しています。

- ▶ [統計に用いる分類\(産業、職業等\)・用語](#)
- ▶ [市区町村名・コード](#)
- ▶ [調査項目を探す](#)



API機能



GIS機能

地図による小地域分析
(jSTAT MAP)



政府統計の総合窓口
(e-Stat)の

活用術



アンケート 実施中

ご協力をお願いします

統計について勉強しよう >>

統計を知る・学ぶ

ランキング

統計キーワード 統計表

	利用件数	キーワード
1	144	学校基本調査
2	127	人口
3	115	国勢調査
4	93	ぎょうざ

○ 新着

NEW!

NEW!

NEW!

NEW!

NEW!

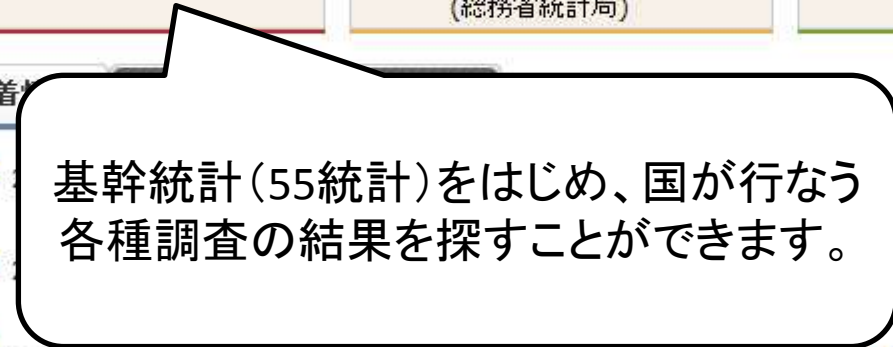
NEW!

基幹統計(55統計)をはじめ、国が行なう各種調査の結果を探すことができます。

RSSによる配信はこちら

[労働力調査報告書\) 年次-](#)

[26年産花きの作付\(収穫\)](#)



- 2015年5月26日 総務省 ▶ [個人企業経済調査\(動向編\) 四半期-2015年1~3月期](#)
- 2015年5月26日 総務省 ▶ [個人企業経済調査\(動向編\) 年度次-2014年度](#)
- 2015年5月26日 国土交通省 ▶ [建設労働需給調査 月次-2015年4月](#)
- 2015年5月26日 国土交通省 ▶ [主要建設資材需給・価格動向調査 月次-2015年5月](#)

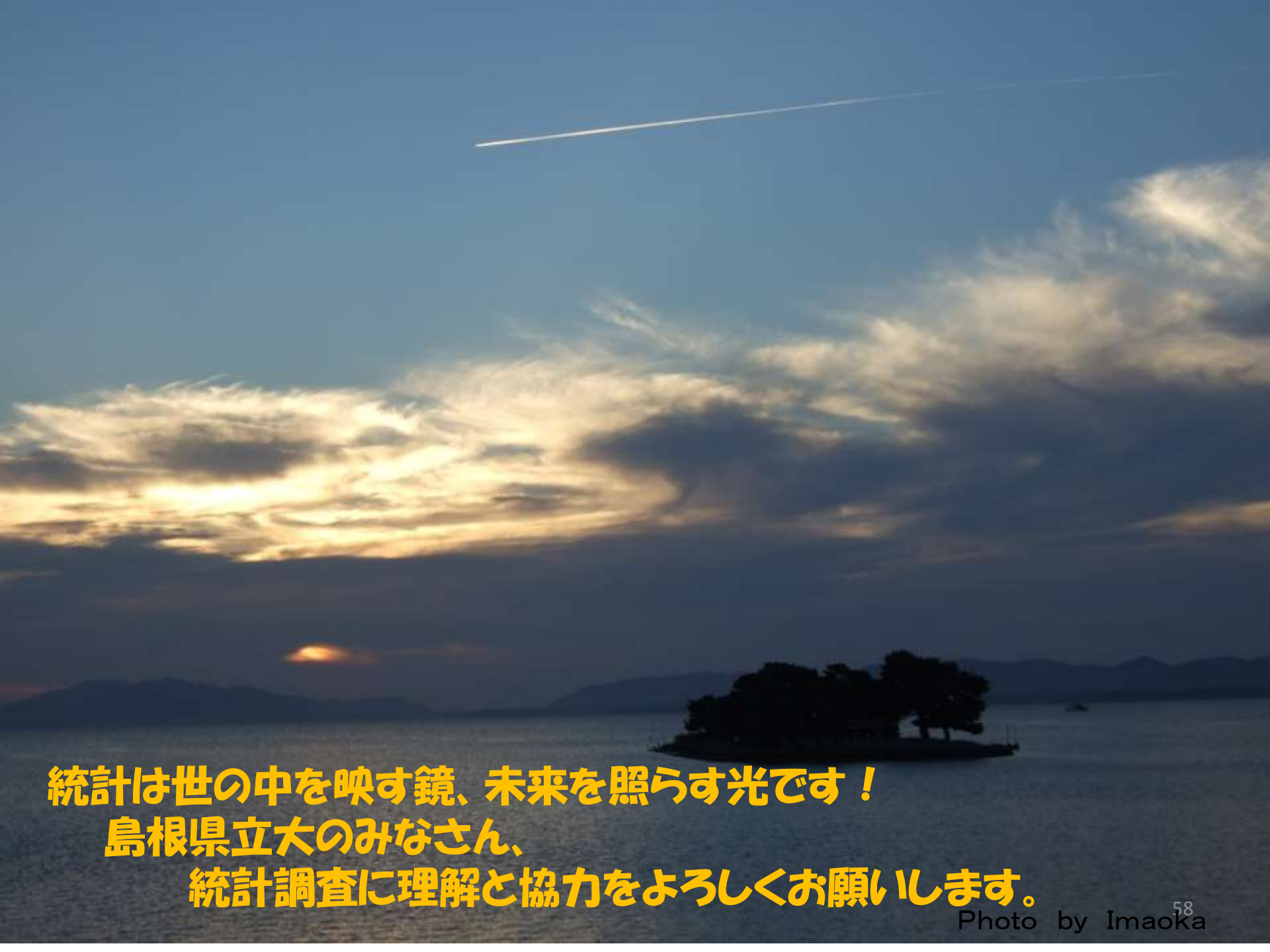
「先生が言っているから」といって、
鵜呑みにしない。

- 自分の目で、データを確認しよう。
- 自分の頭で、データから考えよう。
 - 現実と結びつけて考えよう。

大切なのは役に立つこと

数学的分析だけでは問題は解決できない

- **問題を見つける力(問題発見力)**
 - 現場にも足を運んで、いろいろな経験を
- **問題を解く力(分析力)**
 - 数学的な分析
- **結果を使わせる力(実行・表現力)**
 - プレゼンや具体化の力
 - KKD(勘・経験・度胸)も大事



**統計は世の中を映す鏡、未来を照らす光です！
島根県立大のみなさん、
統計調査に理解と協力をよろしくお願いします。**